

(4) 沖縄自動車道における利用実態調査について〈報告〉 NEXCO西日本における調査内容及び結果報告

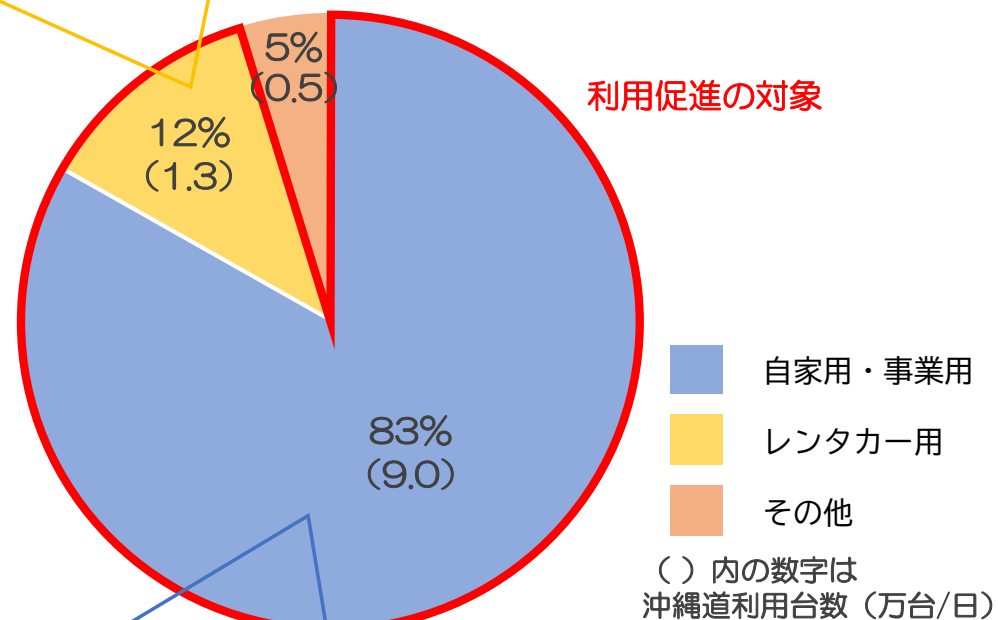
- 令和6年10月にNEXCO西日本において沖縄道の利用実態調査（7日間）を実施。
- 調査期間の沖縄道の日平均交通量は約10.9万台であり、ETC利用率は約77%であった。
- 利用している車両の約83%は「自家用・事業用」が占め、「レンタカー用」が約12%、「その他」が約5%であった。
- 調査期間の「自家用・事業用」車両のETC利用率は約82%で、「レンタカー用」は約65%であった。

◆ 沖縄道の利用実態調査

日平均交通量 約10.9万台/日

目的	更なるETC利用率向上のため、沖縄道の利用実態を把握するもの
調査日	2024年10月8日～14日（7日間） ＜平日:4日、土日祝日:3日＞
調査主体	NEXCO西日本
対象	沖縄道の全ICの一般レーン（出口） ※喜舎場SICは除く
調査方法	沖縄道の全ICの一般レーン 目視によるナンバーの確認し下記に分類し集計
分類種別	①自家用・事業用 ※下記①・②以外 ②レンタカー用（わ・れ） ③その他

沖縄道を利用する車両の約12%は「レンタカー用」であり、「レンタカー用」のETC利用率は約65%



沖縄道を利用する車両の約83%は「自家用・事業用」であり、「自家用・事業用」のETC利用率は約82%

(4) 沖縄自動車道における利用実態調査について〈報告〉

利用実態調査の分析（車種別のETC利用率）

- 軽自動車のETC利用率は、普通車に比べ約10ポイント低い傾向。
 - 沖縄道の軽自動車が全体の約3割を占めているが、他車種に比べても軽自動車のETC利用率は低い。
- ⇒ 軽自動車への利用促進を検討する必要がある。

